

会 議 録 (概要)

会議の名称	第2回 (仮称) 佐渡文化振興財団設立準備会
開催日時	平成29年11月9日(木) 13:30~15:00
場 所	佐渡市消防本部 1階 コミュニティールーム
議 題	(1) 財団の事業について (2) 財団の組織について (3) 今後の協議テーマとスケジュール
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	有識者 9名 事務局(理事者) 市長:三浦 基裕 教育長:渡邊 尚人 (企画課) 課長:岩崎 洋昭 主任:源氏 諭史 (観光振興課) 課長:祝 雅之 (社会教育課) 課長:越前 範行 (佐渡学センター) 次長:岡部 欽也 主任:鶴間 基宏 主任:石渕 裕作
会議資料	1. 財団が当初(当面)取り組む事業(案) 2. 市立小中学校伝統芸能、伝統文化についての調査 3. 組織体制イメージ 4. 予算(案)
傍聴人の数	0人
会議録作成者	教育委員会社会教育課佐渡学センター文化振興係 主任 石渕裕作

会議の概要（発言の要旨）					
議題・発言・結果等					
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ○副座長にA氏。 ○今回提案いただいた資料を事業、案件別に再整理してから会員に配布し、修正等してもらう。 ○来週の早い段階で市長を交えた組織、予算について内部打合せを実施し、3回目の準備会の資料を作成する。 				
会議概要	<ul style="list-style-type: none"> ○各準備会員から事前に提案のあった財団で当初（当面）取り組む事業の概要説明。 ○事務局から現在考えている相識体制のイメージを説明。 ○次回の協議テーマと日程の確認。 				
発言要旨	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: top;">A氏</td> <td> <p>（1）提案のあった事業案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○財団で何をどのように直すかを決定し、専門業者に社寺建築を修理してもらい、修理後、社寺泊、座禅等の体験やインスタ（仮装）舞台設定等で活用する。 ○伝統建築を専門とする工務店がない県もある。国内の技術者不在エリアへの人材派遣を行う。 ○人材派遣と合わせて佐渡産木材を使用した建築部材を販売、輸出する。既に韓国には宮大工がおらず、日本から伝統建築部材を輸出している。 ○無形文化財や伝統建築物の修理時に分かる見えない特殊技術のデータ化を行う。 </td> </tr> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: top;">岩崎課長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○伝統文化専門学校の卒業生を財団で雇用し、全国の文化財の出張修繕を受託する。収益が得られるし、人材育成委とともに文化財保全も図れる。 ○佐渡の食文化も佐渡の誇れる伝統文化の一つであると考え。イベント等でのさどごはんの販売や、作り方の講習会を開き継承を図る。 ○市や来年度新設される観光DMOからの受託事業として、市が受け入れた大学生を地域の祭りに参加させるなどして伝統文化体験をコーディネートする。 ○創作舞踊集団を設立し、国内外でのツアー等を行う。 ○設立予定の地域商社（地域に眠る産品を発掘し販路開拓を行う組織）と連携し、佐渡の伝統文化を発掘し、売するための工夫やアレンジした商品の開発を行う。 ○文化財団が保管管理する美術品や工芸品の貸付を行う。 </td> </tr> </table>	A氏	<p>（1）提案のあった事業案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○財団で何をどのように直すかを決定し、専門業者に社寺建築を修理してもらい、修理後、社寺泊、座禅等の体験やインスタ（仮装）舞台設定等で活用する。 ○伝統建築を専門とする工務店がない県もある。国内の技術者不在エリアへの人材派遣を行う。 ○人材派遣と合わせて佐渡産木材を使用した建築部材を販売、輸出する。既に韓国には宮大工がおらず、日本から伝統建築部材を輸出している。 ○無形文化財や伝統建築物の修理時に分かる見えない特殊技術のデータ化を行う。 	岩崎課長	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統文化専門学校の卒業生を財団で雇用し、全国の文化財の出張修繕を受託する。収益が得られるし、人材育成委とともに文化財保全も図れる。 ○佐渡の食文化も佐渡の誇れる伝統文化の一つであると考え。イベント等でのさどごはんの販売や、作り方の講習会を開き継承を図る。 ○市や来年度新設される観光DMOからの受託事業として、市が受け入れた大学生を地域の祭りに参加させるなどして伝統文化体験をコーディネートする。 ○創作舞踊集団を設立し、国内外でのツアー等を行う。 ○設立予定の地域商社（地域に眠る産品を発掘し販路開拓を行う組織）と連携し、佐渡の伝統文化を発掘し、売するための工夫やアレンジした商品の開発を行う。 ○文化財団が保管管理する美術品や工芸品の貸付を行う。
A氏	<p>（1）提案のあった事業案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○財団で何をどのように直すかを決定し、専門業者に社寺建築を修理してもらい、修理後、社寺泊、座禅等の体験やインスタ（仮装）舞台設定等で活用する。 ○伝統建築を専門とする工務店がない県もある。国内の技術者不在エリアへの人材派遣を行う。 ○人材派遣と合わせて佐渡産木材を使用した建築部材を販売、輸出する。既に韓国には宮大工がおらず、日本から伝統建築部材を輸出している。 ○無形文化財や伝統建築物の修理時に分かる見えない特殊技術のデータ化を行う。 				
岩崎課長	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統文化専門学校の卒業生を財団で雇用し、全国の文化財の出張修繕を受託する。収益が得られるし、人材育成委とともに文化財保全も図れる。 ○佐渡の食文化も佐渡の誇れる伝統文化の一つであると考え。イベント等でのさどごはんの販売や、作り方の講習会を開き継承を図る。 ○市や来年度新設される観光DMOからの受託事業として、市が受け入れた大学生を地域の祭りに参加させるなどして伝統文化体験をコーディネートする。 ○創作舞踊集団を設立し、国内外でのツアー等を行う。 ○設立予定の地域商社（地域に眠る産品を発掘し販路開拓を行う組織）と連携し、佐渡の伝統文化を発掘し、売するための工夫やアレンジした商品の開発を行う。 ○文化財団が保管管理する美術品や工芸品の貸付を行う。 				

会議の概要（発言の要旨）

議題・発言・結果等

<p>発言 要旨</p>	<p>B氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○財団で寺社仏閣の修繕にかかる技術者、材の島内循環の仕組みを作る。 ○川上工務店が事務局となっている古民家再生、活用を行っている組織「佐渡ヘリテイジマネージャー」や、その他関係者等と連携し、古民家や歴史的建造物の活用にかかる相談窓口の設置や許可、認可の支援等を行う。 ○祭り自体に対して集落に滞在してもらうツアーの実施や、人手が足りない地域の祭りへ大学生等、島外の人を派遣するための橋渡しを行う。 ○ダイニングアウト等、有形無形文化財の観光資源としての活用を行う。 ○小学生の時から段階をおって伝統芸能に関する交流、イベント参加等への支援を行う。また、地域を超えた担い手同士の交流、協働、支援を行うシステムづくり。 ○芸能団体、ワークショップ、地域との交流などワンストップ窓口を設置し、コーディネートする。 ○島内芸能団体が使用する道具や楽器の修繕について、情報がなく島外に発注しているところもある。島内で請け負えるように販売業者や技術者の情報提供を行う窓口を設置する。
	<p>C氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各小中学校への民謡指導者等の講師派遣を行う。 ○財団で学校の昼休みに佐渡おけさを流す等、小さいときから佐渡民謡に触れる仕組みづくりを行う。 ○佐渡には焼き物が多いが知名度が低い。酒の陣など島内外のイベントの際に佐渡の陶器や焼き物を利用してもらったり、販売したりすることで知名度を上げる。また、単体ではなく、色々な商品と伝統文化のコラボ商品を開発し、販売する。 ○鬼太鼓や佐渡おけさなど、親しみのわくかわいいデザインの連絡帳やノートを作り各保育園や学校で使ってもらったり、販売したりする。収益につながるだけでなく、子どもや親に佐渡の伝統文化を知ってもらうことにも繋がる。 ○観光客の方から、鬼太鼓を見たいがどこに行けば見られるのかと聞かれるが、祭りやイベントの期間は限られているため、常に見ることができない。団体ツアーの食事の際のオプションとしてショーを提供するなど、発表する場所が欲しい人、発表する人が欲しい施設、見たい人をつなげる仕組みづくりを行う。

会議の概要（発言の要旨）		
議題・発言・結果等		
発言 要旨	D氏	<ul style="list-style-type: none"> ○民謡女子ら若手講師を起用し、島内小中学校への派遣や姉妹連携都市の小中学校への出前授業を行い、少しでも多くの人に佐渡の伝統文化を知ってもらう。 ○若手民謡人やセミプロ化した民謡団体にキャラバン隊を結成し、日本各地のロックフェスやアートフェスなど若者が集まるイベントへ出場し、文化興行を通じて佐渡のPRを行う。 ○両津に本社がある世界的に有名なヘビーメタル関係のアパレルブランド「mastermind」とコラボし、民謡団体の衣装を作ってもらい新しい民謡の文化を創造し、今までにない客層をゲットする。 ○全国各地には素晴らしい民謡が多くある。また、佐渡島内にも手つかずで眠っている古民謡があるかもしれない。土着音楽の魅力を国内外にアピールするため、3年に1度全国各地の民謡を集めた大規模な民謡文化祭を開催する。 ○佐渡は伝統文化が百花繚乱の島であることから、いつでも誰でも気軽に伝統文化に触れられる環境及び景観を整備し、常に伝統文化にアクセスできる「伝統文化享受権」の島を目指す。 ○あらゆる文化的コンテンツを管理、運営して、その中での利害調整と交渉を一手に引き受ける組織体制づくりが必要。
	E氏	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統文化振興において一番大切なことは後継者育成である。生前の永六輔さんとの話の中で、伝統文化、民俗芸能といったものは、地域の人々の支持を失ってしまうとそこで途絶えてしまう。どう繋げていくかが大切である。 ○佐渡伝統芸能楽しむツアー等で芸能きちんと見せることで、リピーターが増え、関係人口の増加につながると思う。
	F氏	<ul style="list-style-type: none"> ○後継者育成のため、子どもたちに民謡を教えている。かつては教育事務所がバックアップしてくれて多くの子どもたちが集まってくれたが、担当者が代わってしまったせいか、今はバックアップがない。 ○担当者が代わったとしても不変的に後継者育成に取り組んでもらえる組織になってほしい。

会議の概要（発言の要旨）

議題・発言・結果等

発言 要旨	三浦市 長	<p>（２）財団の考え方</p> <p>○最初から全ては行えない。まずは佐渡の伝統文化、芸能に絞って、維持、保全、後継者育成に邁進していくために、運用の中で一定の財源を確保できる組織というスタンスの中で、どのような形で立ち上げ、どのような運用をした方が良いかということを準備会で知恵だし、検討をお願いしたい。</p> <p>○財団は外部の声や考え方に左右されず、全体を客観的に見ながら取りまとめていく組織でないとうまくいかない。そのためにもしっかりと外立で作らないといけない。</p> <p>○ある程度の骨組みを準備会で作ってもらい、そこから先は運営しながら組み立てていければと考えている。</p>
	E氏	<p>財団の名前に「伝統」をつけてしまうと、文化というものの狭く捉え過ぎないか。つまり、文化というものは非常に多様性を持ったものであることから「伝統」を冠することによって、新しい文化の創造や振興の足かせになる恐れがある。名前には「伝統」をつけずに定款のなかで扱う業務のプライオリティ（優先順位）を付け、当面は伝統的文化にかかる事業を基本としつつ、多様な文化を担えるようにしたほうが良いのではないか。</p>
	三浦市 長	<p>個人的な考えとして、名称は、立ち上げ時の運営事業スキームが決まった内容に合わせて、議論のうえ最終決定できればと思っています。</p>
	三浦市 長	<p>（３）予算関係</p> <p>議題３の予算については、この事務局案ではダメなので今日は議論しなくてよい。財団の関係の予算は、今回の概算要求とは別問題である旨を財政課には伝えておく。</p>
	岡部次 長	<p>今回挙げていただいた事業のなかの羽茂高校郷土芸能部 0B、0Gのセミプロ化については、来年度国の補助金を申請してぜひやりたいと考えていますが、いかがでしょうか。</p>
	三浦市 長	<p>どういった計画で、どういった活用の仕方なのかを会員の皆さんに資料で示さないと判断ができない。</p>
	G氏	<p>来年度予算の市長決裁までの間は、財政課と各課との予算のや</p>

会議の概要（発言の要旨）		
議題・発言・結果等		
発言 要旨		<p>りとりとは関わらず、財団について検討させてもらおうということ ことでよろしいでしょうか。（市長「はい」）あと、羽茂高校のプ ロジェクトについて、せっかく話が出たので、次回までに会員 の皆さんに資料をお渡してもらえれば。</p>
	三浦市 長	<p>（４）組織について 事業範囲を固めてから、組織の事業グループごとの必要人数を 割り出した方が良く。総務系の事業の職員数については、最初 からイメージをしなくても、必要に応じて、スタート段階は市 職員を出向させてもいいので、事業グループの組み立てが重要。</p>
	三浦市 長	<p>（５）その他 次回のときに、提案事業の際に何件か話のあった、常設的に伝 統芸能等を触れられる環境の整備について、皆さんがどれくら いの規模感でこういった具体案があるのか意見を持ち寄ってほ しい。</p>